

玉置辻く山在峠の巡視点検(交差登山)

◇実施日 3月27日(日) 晴

◇参加者

【順峰班】梶野照雄、志岐敬、西克、ブランドン・リムステッド

【逆峰班】沖崎吉信、児嶋道夫、畑理清子、大江徳子、生熊千満

子、濱野兼吉、中前偉、高階鈴子・美根子

合計13名

週間予報の3月27日は雨、おまけに前日の土曜日は春の嵐になるようだった。山行はできないと思っていたが、週末近くになって予報が好転し、27日は晴となったので実施することになった。

午前7時半過ぎに本宮の世界遺産センター駐車場に全員が集合。この日は大日越えのイベントが参加者50名で行われるらしく、新宮からの参加者もたくさんいて、顔なじみも何人かいた。

沖崎から本日の組分けや車の回送手順などを説明し、それぞれの班が登山口に向かう。

【逆峰班】(9名)

西、梶野、ブランドンの3車に分乗して宮井経由で8時35分頃に玉置辻に着く。各々登山準備をして、8時47分歩きだす。

予報は晴だが気温は低くて雪がちらついてもおかしくないほどだ。おまけに風が強く、午前中はこの状態が続いた。



玉置辻を出発



標識の整備



林道を離れ摩9番水呑宿の分岐を過ぎ、いよいよ今日一番の登りである大森山尾根に取り付く。1〜2分歩いて立ち止まり、20mほど進んでまた立ち止まり、を繰り返しながらなんとか大平多山分岐に着く。スタートしてからここまで1時間5分だ、今まで1時間をおバーすることは無かったが、年のせいか急坂は堪える。旧笹尾辻大崩横を通過し、大森山のピークを踏む。大森山は玉置山より2m高い。俺は兄で玉置は弟、何故こちらに神社を立てなかったのか、とぼやいているように思える。

大森三角点(大水の森)でも休憩し、最初の急降下地点にやってきた。植平さんが設置してくれたロープに頼り、足を滑らさないよう慎重に下る。40分位で全員無事に降りてきた。

岸の宿、切畑辻も通過して五大尊岳も近くなってきた。梶野君から無線が入り「五大尊岳山頂に到着、下った鞍部、去年も昼食を摂った場所で待つ」とのことだった。10分ほど進んでヤッホーと声を

かけるとすぐ下から返事があった。下りきって順峰班と合流、風を避ける場所で昼食を摂る。去年もここで昼食にした。時間もちょうど12時でいいペースで進んでいる。目立った倒木や道荒れは無いようだ。



大水の森

ロープに助けられる

風を避けて昼食

40分ほどで昼食休憩を終え、逆峰班、順峰班とそれぞれが後半戦に分かれる。ここから五大尊岳南峰まで、距離は短いが今日一番の急傾斜が続く。ここも喘ぎ々何とかクリアして山頂に到着、さあこれから急降下だ。あれー！下を見るとロープが取り付けられているではないか。昨年通った時にはロープが無かった。使われているロープや結び方、コブの間隔などから植平さんが設置されたことはずぐに想像できた。

ロープに助けられ無事に一段目をクリアー、次又次の急降下、7ヶ所8ヶ所の全てにロープが設置されていた。正確ではないが、ロープの総延長は300〜500m位有るだろう。おそらく植平さんお一

人で施工されたのだろうが、金剛多和から大森山からかなのは分らないが、ロープの重さも移動距離も、標高差もかなり大きいので、生半可な心構えで出来るものではない。
下りきってヤレヤレ、ロープの設置に言葉では表せられない感謝の気持ちが湧いてきた。



五大尊岳

金剛多和で休憩

山在峠に到着

午後2時20分、金剛多和に到着。12分間の長めの休憩を取り大黒天神岳までの最後の登りにかかる。今までの登り下りでかなり疲れてアーしんど、途中の水場を覗く余裕もない。鈴子さん、徳子ちゃんと私のお疲れ3人組はヒーヒー言いながら25分位を要してやっと大黒天神岳山頂に到着した。

さあ、もう登りは無い、とホットしたが、この先山在峠までの1時間も長かった。午後4時、山在峠に到着、順峰班が残した車で帰宅した。皆さんお疲れ様でした。そして、植平さん、お世話になりました。
(記：沖崎)

行動タイム

08:40 玉置辻↓10:23 大森山↓10:37 大水の森↓12:00 五大尊岳
東・昼食 12:37↓12:45 五大尊岳↓14:18 金剛多和↓14:52 大黒
天神岳↓16:06 山在峠

【順峰班】(4名)

沖崎車に梶野、志岐、ブランドンの3人が、高階車に西さんが乗り山在峠に向かう。西さんがバックランプを点灯したままなかなか動きださない。2分ほど待ったが動く気配がないので車を降りて見に行った。パーキングブレーキの位置が判らず、解除できなかったようだ。



山在峠を出発

毎年咲いている桜

大黒天神岳

昨年は上切原から山在峠に上がる入り口を通り過ぎてしまつて時

間をロスしたが、今年はゆっくり走り歩いて難なく山在峠に到着。車の施錠を確認して歩き出す。鉄塔まで歩いてしばらく休憩。風は強いが日は差している。東側に毎年咲いている山桜があるが、今年もきれいに咲いていた。大黒天神岳までに飛び出たアセビや雑木の枝を切りながら進む。金剛多和に下る途中、水場の様子を見に行った。昨日の雨で大きな流れになっていて、脇の岩の隙間からも水が流れ出していた。



水場を点検

金剛多和で休憩

小倒木を切除

金剛多和で5分ほど休憩、五大尊岳までピークをいくつ越えるか数えてみたが、6つ目で嫌になって正確には数えられなかった。ここまでに直径5cm位の斜木を3本切除した。

1時間40分で五大尊岳に到着する。沖崎さんに東側鞍部で待つ、と連絡して鞍部まで降りて逆峰班の到着を待った。

ちようど12時に逆峰班が到着し、車のカギを交換。昼食後はコジマカフェも開店、お菓子の差し入れもあり食べきれない分はポケッ

トにしまった。



本日の参加者



大森山



玉置辻に到着

逆峰班と別れて大森山を目指す。午後2時過ぎ大水の森に到着、休憩せずに大森山のピークへ向かう。大水の森から大森山までは近いように思っていたが、実際には15分かかった。大森山でしばらく休んで玉置辻に向かう。無線機から「大黒天神岳に着いた」と沖崎さんの声が聞こえた。日頃マラソンで鍛えている志岐さんと、若いブランドンがどんだん先に行き、西さんと私の古いぼれ二人が取り残されてしまった。逆峰班から「倒木は無し、作業も無し」と聞いていたし、登山道も把握しているので急がず、同じペースで歩き続けた。先行の二人から10分ほど遅れて玉置辻に到着、午後3時40分過ぎだった。

(記：梶野)

行動タイム

08:12 山在峠→08:49 送電鉄塔→09:27 大黒天神岳→09:43 水場
↓09:58 金剛多和 10:03→11:44 五大尊岳→11:52 五大尊岳東・
昼食 12:38→14:04 大水の森→14:21 大森山→15:16 水呑宿分岐
↓15:43 玉置辻